

2015年11月6日（金）
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第51号
リオ市内で強盗事件が連続発生

11月5日、リオ市中心部からガレオン国際空港へのアクセスルートであるリーニャ・ベルメーリャ通りにおいて、アハスタウン（集団強盗事件）が発生し、現場へ駆けつけた警察との銃撃戦に発展しました。

また、同日、リオ市セントロ地区においてもバスジャック事件から銃撃戦に発展し、3人が死亡する事件が発生しています。

1 リーニャ・ベルメーリャ通りにおけるアハスタウン（集団強盗事件）

当地主要紙「オ・グローボ」によれば、11月5日午後5時25分頃、同紙記者が同通りのイーリャ・ド・フンダオン（Ilha do Fundao）付近を空港方面へ車で移動中、渋滞に巻き込まれ、その際、男3人組が拳銃を用いて複数の車両を襲っている現場をに偶然居合わせた。

その後、州文民警察の車両が現れ、犯人グループとの銃撃戦に発展した。同記者によれば、少なくとも4発の銃声が聞こえたとのこと。

犯人グループ3人の内、少年とみられる1名が逮捕され、残りの2名は逃亡した。

なお、この銃撃戦による被害は、11月6日時点で確認されていない。

2 セントロ地区でバスジャックに伴う銃撃戦（3人が死亡）

当地主要紙オ・グローボ電子版「G1」によれば、11月5日午後8時40分頃、リオ市内セントロ地区のプレジデンテ・バルガス（Presidente Vargas）通り（地下鉄プラザ・オンゼ駅近く）において、男2人組によるバスジャック未遂が発生した。

車両内に居合わせた軍警察官（私服）がこれを防ぐため、犯人に向けて発砲し、犯人の内一人はその場で死亡、もう一人も病院に運ばれたが、その後死亡が確認された。また、同バスの運転手も銃弾にによる死亡が確認されており、文民警察殺人課では、銃撃戦による流れ弾によるものとみて、全ての目撃者から事情聴取するなどして捜査を進めている。

【当館から】

- 1 渋滞時に車両を次から次へと遅う「アハスタウン（地引き網）」が、依然として市内各地で多発しています。貴重品は足下に置く等、外から見えないように配慮しましょう。また、窓を開けたままの走行は極めて危険です。タクシーに乗る際は必ず窓を閉めるよう、運転手に依頼して下さい。
- 2 当地では、北部地方を中心にバスの襲撃事件が依然として頻発しており、特にセントロ地区からの市バス利用は注意が必要です。今回の事件もセントロ地区発着の便で発生しており、移動の際には比較的安全なタクシーの利用を強くお勧めします。
- 3 万が一強盗に遭遇した場合、決して抵抗することなく、落ちついて相手の要求に応じるようにしましょう。